



**健康づくりで
地域活性化を目指す**

3月26日、全国規模でスポーツ振興に取り組む株式会社アールビーズ(東京都)と市との「健康増進・スポーツ推進に関する連携協定締結式」が行われました。この協定は、スポーツ振興や健康増進関連のイベント等に協働して取り組むことなどを定めたもの。同社の橋本治朗代表取締役は「全国や世界に発信できる企画を鹿屋市で生み出していきたい」と話しました。



**正確で迅速なワクチン
接種のために**

3月20日、市保健相談センターで新型コロナウイルスワクチン集団接種会場運営訓練が行われました。今回の訓練は自治体を実施する集団接種会場の運営訓練としては、県内では初の事例。訓練には、医師や看護師など医療従事者をはじめ、接種者役の市民ボランティアなど合わせて約100人が参加し、問診や接種、副反応の対応などの手順を確認しました。



**高須小学校141年
の歴史に幕**

3月14日、新型コロナウイルス感染症の影響により延期されていた高須小学校の閉校式が行われました。式には卒業生や地域住民など131人が出席。主催者や児童代表の挨拶のほか、校旗返納などが実施されました。また、校内には学校に関する思い出の写真が多く掲示され、参加者は当時の思い出に浸りながら141年続いた同校との別れを惜しみました。



**鹿屋航空基地史料館
来館200万人達成**

3月13日、鹿屋航空基地史料館で来館者200万人達成記念式典が行われました。平成5年にオープンした同史料館は平成16年に来館者100万人を達成し、それから16年余りを経て200万人に到達。来館者200万人目となった久保文明さん家族は「とても嬉しいです。子どもたちにも鹿屋の歴史を伝えていきたいと思います」と語りました。



**卒業生への感謝を
込めた餅作り**

3月23日、川西町公民館で田崎小学校の卒業生に贈る紅白餅作りが行われました。川西町内会では田崎小学校の5年生の生徒と協力して卒業生に餅を贈っており、今年で6回目。今回作られた餅は、5年生が同町の田んぼで作ったもち米を原料にしており、生徒たちは卒業生への感謝の気持ちを込めながら、丁寧に餅作りを行っていました。



**県ちびっこソフト大会
喜びの優勝・3位報告**

3月25日、細山田・花岡のソフトボールスポーツ少年団2チームのメンバーと監督が市役所を訪れました。両チームは3月に行われた「第47回鹿児島県ちびっこソフトボール大会」に出場し、細山田は初優勝、花岡は3位とすばらしい成績を収めました。各チームは大会での激闘を振り返り、勝利の喜びを報告しました。



**一年遅れの女子高新
校舎完成を記念して**

3月19日、新型コロナウイルス感染症の影響で昨年開催できなかった鹿屋女子高校の新校舎完成記念式典が挙行されました。式典では、校舎正面に設置された校章の除幕式が行われ、生徒代表の西柳凜さんは「伝統ある学校と先輩たちの思いを引き継いで、新校舎での学校生活を楽しみたい」と語りました。



**長年の功績が認められ
文部科学大臣表彰**

3月15日、国立大隅青少年自然の家で金属とガラスの合体工芸の一種である七宝焼の指導を長年行ってきた功績が認められ、文部科学大臣表彰を受賞した神前ひろ子さんが市役所を訪れました。神前さんは外部指導員として、同施設で15年以上七宝焼を指導。神前さんは「子どもたちのセンスのすばらしさに驚かされながら楽しく教えています」と語りました。



**新規就農者の営農の
門出を祝って**

3月25日、市役所で「新規就農者を励ます会」が開催され、令和元年度に新規就農した9人が出席しました。この会は新規就農者の営農の門出を祝うために毎年行われているもの。会では関係者から激励の言葉が贈られ、農畜産業を営む中島将就さん(輝北町市成)は、「品質の良いものを作り地域をリードする人材になりたい」と今後の抱負を語りました。



**重いものが軽々運べる
スーツに驚嘆**

3月23日、鹿屋農業高校でアシストスーツの実演会が開催されました。この日は株式会社クボタによる実演指導が行われ、未来の鹿屋市の農業を担う高校生12人が参加。実演会では、アシストスーツ商品の説明のほか、生徒による着用体験も実施され、スーツの効果で物が軽く感じ、作業の軽労化を体験した生徒たちの驚きの声があがりました。



**農業のすばらしさを
一枚の写真で表現**

3月17日～23日、市役所ロビーで「かごしまフォト農展」の入賞作品の展示が行われました。この写真展は、鹿児島県の農業・農村が持つ魅力を、写真を通して見つめ直すことを目的に、平成4年から開催されているもの。最高賞の鹿児島県知事賞に輝いた別府和代さん(南町)の「葉たばこの植え付け」など、農業の様々な風景を撮った作品31点が展示されました。



**大物を狙う!
最後のニジマス釣り**

3月14日、20日、21日、旧鶴羽小学校のプールでニジマス釣り大会が開催されました。これは、花岡地区の地域活性化に取り組む「花岡会」が平成25年から毎年行っているもので、9回目となる今回が最後の開催。同会は約2,000匹のニジマスを5か月かけて育成し、大きなニジマスでは30cmまで成長。当日は多くの家族連れがニジマス釣りを楽しみました。